

## 共同研究刊行物一覧

## 教育史研究室

『教育史研究室年報』第25号 ISSN 1345-8191

B5判, 全92頁

2020年3月 印刷・発行

内容：

## 【A】論文

日露戦後におけるある青年の進路選択と生活世界

—学歴獲得競争からの離脱をめぐる—

吉川 卓治

子どもを活動の主体にした教育環境づくりの史的研究（2）

—1929（昭和4）年頃における明星学園小学部の教育実践を支えた教育環境づくりの分析を中心として—

志村 廣明

『ドイツ無宗派福祉事業連盟通信』にみるドイツ無宗派福祉事業連盟（DPWV）と学校田園寮の関係

—1950年代～1960年代前半に焦点を当てて—

江頭 智宏

## 【B】教育研究活動報告

## 社会・生涯教育学研究室

『社会教育研究年報』第34号 ISSN 0914-4439

B5判, 全156頁

2020年3月 印刷・発行

内容：

はじめに 辻 浩

## 〈研究論文〉

高度経済成長期社会教育史研究（2）

—長野県旧上郷村公民館報に見る地域変貌と住民の学習—

竹井 沙織・張 苑菁・徐 真真

二村 玲衣・藤田 圭亮・内藤 綾香

高 一格・大村 隆史・王 倩然

「教育福祉的生涯学習」から見た教育基本法解釈の課題

—困難を抱えた人々の連帯による教育の改革—

辻 浩

雑誌『新しい家族』にみる里親支援の視点とその変遷

—委託前支援から委託後支援への着目過程—

二村 玲衣

出席停止が推進される理論的枠組みの検討

—2001年の学校教育法改正と大阪市の事例に着目して—

坂野 愛美

「博物館と観光」をめぐる議論と課題

—文化芸術立国, 観光立国が目指される中で—

佐藤 友美

学生の発達に向けた大学教育実践の特徴と課題

—大学評価学会における青年期発達保障研究を手がかりに—

中山 弘之

## 技術・職業教育学研究室

『技術教育学の探究』第21号 ISSN 2189-6348

A4判, 全117頁

2020年10月 印刷・発行

内容:

### 〈翻訳〉

愛知軍政部月例報告翻訳(その11)

訳 占領期社会教育史研究会(新海英行・  
大田高輝・石井拓児・榊原博美・林恭子)

J.F.C.ハリソン著『学習と生活 1790-1960』

—英国成人教育運動史—第2章(その①)

監訳 新海英行

訳 英国成人教育史研究会(旭多貴子・  
杉本武之・杉野利幸・林恭子・藤江知子)

### 〈研究室報〉

編集後記

Vocational Pedagogy in Praxis: Lessons from Uganda

Liv Mjelde Richard Daly

仕上げた作品を磨くことについて

Otto Salomon 著, 横山 悦生 訳

ウノ・シグネウス

Otto Salomon 著, 横山 悦生 訳

鈴鹿電気通信学園における訓練の変遷

—訓練課長が残した記録の分析から—

加藤 敬之

第二次世界大戦後の国鉄通信教育

—「受講理由」「カリキュラム」「補助教材」

に焦点を当てて—

長谷川 晴通

東京都に設置されていた工業学校の概要とその  
資料

山田 宏

地域中小企業における5S活動の現状とその課題  
についての調査研究

—とりわけ「躰」に焦点を当てて—

三宅 章介, 横山 悦生

編集後記

横山 悦生

## 生涯学習・キャリア教育研究センター

『生涯学習・キャリア教育研究』第16号

ISSN 1880-3148（電子ジャーナル）

A4判，全54頁

2020年3月 印刷・発行

内容：

デュアル志向職業教育の効果検証に関する研究  
—専修学校・職業実践専門課程の実態分析—  
寺田 盛紀

大正期から昭和初期における政治教育運動の展開  
—田澤義舗と武藤山治の思想と実践—  
上原 直人

植民地期朝鮮における女教師の社会教育活動  
李 正連

1940年から1975年までのスウェーデンの職業教育の展開  
Anders Nilsson（著）  
ブロムベリ・ニクラス，横山 悦生（共訳）

初等中等教育におけるポートフォリオを活用したキャリア教育の現状と課題  
—実践の継続性・発展性の可視化を目指して—  
胡田 裕教，清水 克博，高綱 睦美  
鈴木 稔子，角田 寛明，柴田 好章

植民地期朝鮮の夜学教師に関する一考察  
—1930-40年代の夜学経験者のオーラルヒストリーをもとに—  
李 正連

なぜスウェーデンはデンマークと異なる経路を選択したのか  
Pettersson Lars（著）  
ブロムベリ・ニクラス，横山 悦生（共訳）

活動報告

## 教育経営学研究室

『地域教育経営に学ぶ』第22号 ISSN 1344-798X

B5判, 全125頁

2020年3月 印刷・発行

内容:

はじめに

お世話になった方々

特別寄稿

「子ども論」が語れる学校づくり

稚内北星学園大学教授 但田 勝義

子どもたち一人ひとりに大きな自信を育てる  
学校づくりをめざして

稚内市立稚内中央小学校校長 今野 亘

力を合わせて目指したい

宗谷教職員組合書記長 遠藤 玄

小学校教諭という仕事について

稚内市立稚内東小学校教諭 山本 美穂

2019年度 宗谷教育調査団 報告論文

報告1: 稚内市の学校づくりにおける子どもの  
自治的な活動の役割と意義

富永 憲司, 杉本はるか, 林 史華

報告2: 「子どものため」の教育課程づくりの  
特質と教員の共同との関係性

—稚内市立潮見が丘小学校, 稚内市  
立稚内中央小学校, 稚内市立稚内  
東小学校の三校に着目して—

玉田 純加, 鈴木 造, 丹羽 環

特集 第1部 幌延町立幌延小学校で一日交流  
をさせていただきました

～体験記&感謝を込めて～

第2部 宗谷ゼミの教職員の共同に関する  
研究の歩みと今後の展望

2019年度宗谷ゼミ 活動報告

◆メンバー紹介

◆宗谷ゼミ1年のあゆみ

◆本調査のあゆみ

◆稚内北星学園大学「教たまゼミ」との第一  
回交流会

◆宗谷ゼミ運営体制

◆予備調査日程一覧

◆本調査日程一覧

◆ゼミパンフレット

◆宗谷ゼミニュース

みんなのことは

2019年度 宗谷ゼミ 参加者一覧

編集後記

『地域教育経営に学ぶ』バックナンバー

『教育におけるアドミニストレーション』第22号

ISSN 1343-9804

A4判，全95頁

2020年3月 印刷・発行

内容：

巻頭言	
喫緊の政策課題と「教育経営学」	南部 初世
1. 特集「学習指導要領の改訂と『教育課程経営』の研究課題」	
特集「学習指導要領の改訂と『教育課程経営』の研究課題」に寄せて	西村健太郎
今次学習指導要領改訂における「『教育課程』の再定位」	
—「カリキュラム・マネジメント」ではなく「教育課程づくり」の必要性—	植田 健男
高野桂一の「教育課程経営論」の到達点と課題	濱口 輝士
部活動の在り方に関する議論における新たな論点	
—教育課程経営論を手がかりに—	鈴木草営駒
名古屋大学教育経営学研究室における教育課程経営研究の到達点と課題	西村健太郎
2. 自由研究論文	
戦後教育改革期における「教育課程」概念の生成とその意義	
—教育課程経営研究の再検討課題—	西村健太郎
3. 教育経営学研究室における研究・教育活動記録	
2019年度研究室運営報告	西村健太郎

教育経営学演習Ⅰ・教育経営学研究Ⅰ（教育経営学Ⅲ）—教育経営学理論の検討—の総括	西村健太郎・鈴木 造・林 史華
教育経営学研究Ⅲ・Ⅳ（教育経営学Ⅰ・Ⅱ）の総括	南部 初世
教育経営学演習Ⅲ—地域教育経営の事例研究—（宗谷ゼミ）の総括	富永 憲司
教育経営懇談会活動報告	
鈴木草営駒・杉本はるか	
教育経営学研究室読書会（K-café）活動報告	
鈴木草営駒・丹羽 環	
「教育課程経営研究会」の活動報告	
鈴木草営駒・西村健太郎	
4. 個人研究記録（卒論・修論抄録）	
貧困層に対する教育費支援制度の課題	
—就学援助制度の運用実態を手がかりに—	杉本はるか
「子どもが主人公」の学校づくりの意義	
—豊富中学校の2014～2016年度の実践に着目して—	林 史華
「子どもの参加」を実現する学校づくりの構造と特質	
—1999年から2009年における滋賀県近江八幡市立島小学校の実践を手がかりに—	鈴木草営駒
1947年版学習指導要領における自由研究としてのクラブ活動の成立過程に関する研究	中川 慶乃
彙報	
刊行の趣旨・編集規定	
編集後記	